

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4 畑 (にんじん・じゃがいも)	5 海の日 ハンザ体験	6 科学実験教室	7
8	9 絵画展	10	11 しずかな時間	12	13	14
15	16	17	18	19 第2週～3週、このあたりの	20	21
22	23 どこかで (田植えの日は)	24 緑大11歳 田植えの予定 おむすびの日)	25 てらこや キッチン	26	27	28
29	30 ひとつのじかん 13時～@もみじ			6月 		

○今月のおむすびの日 (緑色の日) 5日 (木) 11・18日 (水) & 田植えの日 (第2～3週どこか) ○青字・・・誕生日 ♪

***** 持ち物について こどもたちに伝えていること シェア♪ *****

川プールの季節 → ○着替え ○タオル ○濡れたものを入れる袋 ○必要な人は、水着
暑くなってきました → ○ぼうし ○必要な人は、水筒
てらこやに → ○雨カップ

◆♪*...◆♪* きく のメッセージ 「わたしらしく、わたしたちを生きる」 ◆♪*...◆♪*

『生きる』とは何か。

屋久島から出て、そんな問いを持ってこの地球子舎に来た。高校教員として生徒達に生きる力を育てて貰おうと授業を行ってきた。でもふと思った。それを教えている自分は本当の意味で生きるに向き合っているのか。そこから生きることへの探究の旅が始まった。最近その一つの答えがようやくでたような気がする。

4年目を迎える地球子舎での活動を通して、少しずつではあるが自分らしくいられているように感じている。子どもたちとの暮らしを通して、遊び、学びあいながら、自分と対話していく毎日。自分が喜びでいられているし、やりたいことをやれている。自分はありのままの自分でいいんだと思えるそんな感覚になってきていた。

しかし私生活において、自分らしさを出すことでみんなの和を壊してしまう体験があった。あれ？自分らしさを出せば出すほど、みんなとの折り合いがつかなくなってしまっているのかもしれない。わがままなのか？相手を大切にしたいけど、相手に合わせて気を遣っている自分もそれは違う気がしていた。自分らしくあれど他者との人間関係も豊かにつながっていくにはどうしたらいいだろうか。そんな問いを持ち始めるようになっていった。そんな時に友人から進めて貰ったリトリートというものがあつた。タイトルはわたしらしく、わたしたちを生きるリトリート。今の問いのヒントを貰えそうな気がする。直観を信じて参加してみようと思った。

箱根で行われた3泊4日のリトリート。出会えたことにいやさか(乾杯)をして、ひとりひとりの物語を分かち合って、歌を歌って、わたしたちで生きることを対話して、おむすびを握って、食べられることに感謝をして、詩を読んで、わたしをキャンバスに表現して、そして旅立ちを祝いあつて。

みんなとの体験を通して、学んだこと。喜びのあるがままのわたしを生きると、それが自ずと循環していく。それが誰かの喜びになって波紋していき、つながりの中で、わたしとなり、わたしたちとなっていた。境界線が少しずつ混ざり合っていて。言葉や心をつなげて、生命を感じられて、そこに幸せや豊かさを感じることができた。喜びで自分らしくいられているわたしとあなたはつながることができる。わたしたちで生きる意味を見出した時間だった。

また自分の中ではつながりを思い出すような感覚もあつた。このつながりは目には見えないけど、でももう心の中にはあつたんだなって。みんなとその心を育てあつて、思いだしただけやつた。だからようやくひとつの答えがでた。そっか！！「自分はつながりの中で生きている」 生きるって、多くの生命(人、自然、自分だったり)とのつながりを感じることに豊かさや幸せがつまんでいるんじゃないかと思えることができた。そしてもうすべてはつながっていて、つながりを見つめるためのモノの見え方や感じる心を育む。それが生きる力なんじゃないかなと思えたのだ。わたしらしく、わたしたちを生きる。今後の社会においてもすごく重要だと思うし、地球子舎でも大事にしていきたい言葉だと自分は思っている。

人生のテーマであつた『生きる』とは。今後も「つながりと共に生きる」を大事にして生きていきたい。そして答えは足元にある。と偉大な先生が言っている。今この足元から歩いて今日も生きていく。